

平成23年度

岡山県立博物館協議会

第1回 開催要項

1 開会

2 議題

(1) 平成23年度事業について

ア 展覧会

イ 教育普及事業

ウ その他

①入館状況

②緊急雇用対策事業（経済対策事業）

(2) 中期目標の達成状況について（平成22年度）

(3) その他

平成22年度来館者アンケート

3 閉会

日 時：平成23年8月18日(木) 13:30～15:00

会 場：岡山県立博物館 「講堂」

平成23年度 事業計画

1 年間展示計画の概要

平成23年7月末現在

期 間	第1室 (考古)	第2室 (古代・中世)	第3室 (近世・民俗)	第4室 (備前焼・刀剣)	
(3/25)～5/29 春季展 58日	古代吉備の世界－考古資料－	<特別陳列>岡山県指定重要文化財 「寶福寺文書」 <特別陳列>「後樂園の宝物」	五月人形 絵葉書(記念) 備前焼 茶陶の名品	岡山の新刀・新々刀 短刀の美	
6/3～7/18 特別展(1) 夏季展 45日	《特別展》 「幕末・明治の超絶技巧 世界を驚嘆させた金属工芸」		古代吉備の世界－考古資料－ 国絵図 絵葉書(名所岡山)	岡山の新刀・新々刀 備前焼 茶の湯の美	
7/23～8/29 企画展(1) 夏季展 38日	古代吉備の世界－考古資料－ <特別陳列> 大地からの便り2011 －県内の発掘調査報告展－	中世の商品流通 吉備津彦神社の文化財 江戸時代の絵画	《企画展》 「岡山の年中行事－夏－」	備前・備中・備後の刀剣 備前焼 細工物の美	2
9/2～10/2 企画展(2) 秋季展 31日	古代吉備の世界－考古資料－ 岡山の木器	《企画展》 「新たな国民のたから 文化庁購入文化財展」	面浄瑠璃 絵図 備前焼 海中の古備前	日本刀名品選 備前焼 細工物の美	
10/7～11/13 特別展(2) 38日	《特別展》<法然上人800回忌記念・岡山県立博物館40周年記念> 「法然上人と岡山」				
11/18～1/9 冬季展 44日	古代吉備の世界－考古資料－ 吉備の遺跡巡り	岡山の仏像 経典の世界 武将の書状 備前焼 海中の古備前	化粧 大名の社寺奉納品 <特別陳列> 「後樂園花交の池木樋管」	<特別陳列> 国宝赤韋威鎧 日本刀名品選・甲冑名品選 備前焼 茶陶の名品と細工物	3
1/13～2/19 交流展 冬季展 38日	古代吉備の世界－考古資料－ 古瓦の美	《交流展》 岡山・島根文化交流事業 「出雲と吉備 －玉・銀・神楽－」	岡山の荘園 海中の古備前	神に捧げられた刀剣 幕末・明治の超絶技巧 備前焼の細工物	
2/23～3/31 春季展 37日	古代吉備の世界－考古資料－ 古瓦の美	江戸時代の学校(備前) <特別陳列> 阿藤伯海コレクション	雛人形 <特別陳列>茶席のたたずまい	よみがえった備前刀 幕末・明治の超絶技巧 備前焼の細工物	

2 教育普及事業

事 業 名	実 施 期 間	
①館内授業・出前授業・探検ツアー	4月～	4
②歴史体験 よろいと小袖を着てみよう!	5月5日	
③吉備の国ジュニア歴史スクール	5月～	
④博物館講座	6月～10月	5
⑤博福連携事業 いきいき講座	8月～10月	
⑥博物館実習	8月	
⑦中学生職場体験	11月～	

1 展覧会

事業名	特別展 「幕末・明治の超絶技巧 世界を驚嘆させた金属工芸 －清水三年坂美術館コレクションを中心に」
期間	平成23年6月3日(金)～7月18日(月)
趣旨	日本の金属工芸は刀装具を中心に発展し、幕末・明治に頂点に達した。本展では、江戸から明治という変革の時代に新たな芸術を目指し、日本の「工芸」を世界に発信した、岡山ゆかりの正阿弥勝義をはじめとする金工作家たちの驚きの「技」を紹介する。
主要展示資料	毘沙門天図罫(正阿弥勝義作)《江戸時代》<清水三年坂美術館蔵> 群鶏図香炉(正阿弥勝義作)《明治時代》<清水三年坂美術館蔵> 蓮葉に蛙皿(正阿弥勝義作)《明治時代》<清水三年坂美術館蔵> 十二の鷹(鈴木長吉作)《明治時代》<東京国立近代美術館蔵>
関連事業等	①記念講演会 講師:清水三年坂美術館長 村田理如氏 ※150名参加 ②ワークショップ「自由に動かせる金属のエビ模型をつくろう！」(2日間) ※94名参加 ③金工の実演解説(金工作家3名) ④展示解説 ・東京会場・泉屋博古館分館、三島会場・佐野美術館、大阪会場・大阪歴史博物館 ・「正阿弥勝義ベストセレクション」(独自開催) ※入館者数 9,576名
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生100円、小人80円、5歳未満無料 (2室使用)

事業名	企画展 「岡山の年中行事 ー夏ー」
期間	平成23年7月23日(土)～8月29日(月)
趣旨	近年、生活環境等の急激な変化の中で、伝統的な年中行事は変容を余儀なくされたり、伝承が困難となったものもある。この展覧会では、県内に伝承されてきた「夏」を中心に行われる伝統的行事を紹介し、改めて郷土岡山の歴史と風土について考える機会とする。
主要展示資料	【盆】 水棚《昭和40年代》<当館蔵>、精霊船《現代》<当館蔵> 【盆踊り】 シリゲ(大宮踊)《現代》<当館蔵>、大傘(白石踊)《昭和時代》<笠岡市白石踊会蔵> 【護法祭】 護法祭式行事記《明治36年(慶応元年写)》<美咲町 両山寺蔵>
関連事業等	①国指定重要無形民俗文化財「大宮踊」公演と「シリゲ」作り体験 <大宮踊保存会> ②瀬戸内市指定重要無形民俗文化財「ししこま」作り体験 8月21日(日) <ししこま保存会> ③はくぶつかんクイズラリー ④展示解説(毎月第2・第4土曜日 14時～) ◆以下同様
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)

事業名	企画展 「新たな国民のたから ー文化庁購入文化財展ー」
期間	平成23年9月2日(金)～10月2日(日)
趣旨	文化庁では、貴重な文化財の流出を防ぐため、国宝、重要文化財等の購入を継続的に行い、平成21年度から、全国の公開承認施設で購入文化財の優品を展示している。本年度は、当館で開催され、県民に貴重な文化財に触れる機会を提供する。
主要展示資料	仏 木造聖観音立像、木造四天王立像、絹本著色孔雀明王像(3点重要文化財) 雅 源氏物語、新古今和歌集竟宴和歌、紅黒緑段秋草枝折戸文様唐織(3点重要文化財) 巧 太刀 銘 久国、太刀 銘 正恒(2点国宝) 土 色絵若松図茶壺 仁清作(重文)、色絵婦人像 伊万里・柿右衛門様式
関連事業等	・展示解説
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)

◇展覧会

事業名	特別展 「法然上人と岡山」 <法然上人800年忌記念・岡山県立博物館開館40周年記念>
期間	平成23年10月7日(金)～11月13日(日)
趣旨	浄土宗の開祖法然上人は、平安時代末に岡山県で生まれた。今年は、法然上人の800回忌にあたり、上人誕生の地であることから、上人の生涯と思想や、上人と交流があった岡山ゆかりの人物を紹介する。また、上人誕生の地に建立された誕生寺の歴史や文化財等について紹介する。
主要展示資料	<p>【法然上人の時代とその信仰】 法然上人絵伝<京都府知恩院蔵>、六道絵<滋賀県聖衆来迎寺蔵>(2点国宝)</p> <p>【法然上人と岡山ゆかりの人々】 金山寺住僧等解<岡山市金山寺蔵>(重要文化財)、平家物語絵巻<林原美術館蔵></p> <p>【誕生寺の歴史と文化財】 阿弥陀如来像・胎内納入摺仏、繡帳阿弥陀三尊来迎図<2点久米南町誕生寺蔵> (岡山県指定重要文化財)</p> <p>【浄土教の美術】 十六羅漢図<京都府清凉寺蔵>(国宝)、浄土曼荼羅図<滋賀県成菩提院蔵>(重要文化財)</p>
関連事業等	<p>①記念講演会 10月29日(土) 講師: 仏教大学歴史学部教授・元仏教大学学長 中井真孝氏 11月6日(日) 講師: 京都国立博物館研究員 若杉準治氏</p> <p>②特別解説 10月15日(土) 講師: 就実大学人文科学部教授 土井通弘</p> <p>③展示解説</p>
備考	入館料 大人650円、65歳以上320円、高校生200円、小人180円、5歳未満無料 (4室使用)

事業名	交流展 岡山・島根文化交流事業「出雲と吉備一玉・銀・神楽一」
期間	平成24年1月13日(金)～2月19日(日)
趣旨	平成21年度から、中国地方の南北軸で結ばれる島根県と、両県立博物館の館蔵品を中心に紹介し、博物館のネットワーク構築を推進してきた。最終年の本年は、世界遺産石見銀山関係資料や玉作り、神楽など交流を物語る文化を紹介する。
主要展示資料	<p>【交流のはじまり】景初三年銘三角縁神獸鏡《古墳時代》<文化庁蔵>(重要文化財)</p> <p>【出雲の玉作りと吉備】上野1号墳出土瑪瑙勾玉《古墳時代》<島根県埋蔵文化財調査センター蔵></p> <p>【世界遺産石見銀山と岡山】石見銀山絵巻《江戸時代》<個人蔵></p> <p>【花開く交流、神楽】「三韓」新羅王の古面《江戸時代》<佐陀神能保存会蔵></p>
関連事業等	<p>①記念講演会 ②国指定重要無形民俗文化財「佐陀神能」公演</p> <p>③ボランティア(「友の会会員」)によるガイド ④展示解説</p> <p>・H21: 国宝青銅器の世界、H22: 神々の世界</p> <p>・「備前焼展 土と炎の芸術」島根県立古代出雲歴史博物館で開催 (H23.12.28～H24.2.26)</p>
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)

平常展 「岡山県の歴史と文化」

	期 間	特 別 陳 列
春季展	4月 1日～ 5月29日	「後樂園の宝物」、岡山県指定重要文化財「寶福寺文書」
夏季展	6月 3日～ 8月29日	「大地からの便り2011ー県内の発掘調査報告展ー」
秋季展	9月 2日～10月 2日	「国宝赤韋威鎧」
冬季展	11月18日～ 2月19日	「後樂園花交の池木樋管」、「阿藤伯海コレクション」
春季展	2月23日～	「茶席のたたずまい」
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料	

◇教育普及事業

事業名	博福連携事業 「いきいき講座」
期間	平成23年8月～10月
概要等	平成22年度から高齢者福祉施設と連携し、「いきいき館内講座」、「いきいき出前講座」を高校生等のボランティアとの協働により実施している。また、館内に昭和時代の居間を再現展示することなどにより、回想法的手法の研究を進めている。(H22～H24) ①連携施設 特別養護老人ホーム、デイサービスセンター 各1施設(岡山市内) ②参加人数 館内講座 各10名程度、出前講座 各20名程度 ③その他 今年度、新たに大学生ボランティアと協働を計画

事業名	「博物館実習」
期間	平成23年8月(5日間)
概要等	博物館法に規定する学芸員資格の習得を希望する学生に対して、博物館において実習の機会を提供し、人材育成に資するとともに博物館活動の普及を図る。 ①講義実習(3日間) 学芸員の使命と実務、考古・文書・工芸資料等の特性と取扱い 等 ②支援実習(2日間) 「大宮踊り、シリゲ」「ししこま」 ③実習受講者数 13名

事業名	「中学生職場体験」
期間	平成23年11月～
概要等	中学2年生を対象にした職場体験の受け入れ ・20名程度を受け入れる予定 ・学芸業務や受付・看視等の仕事を体験

月別入館者数

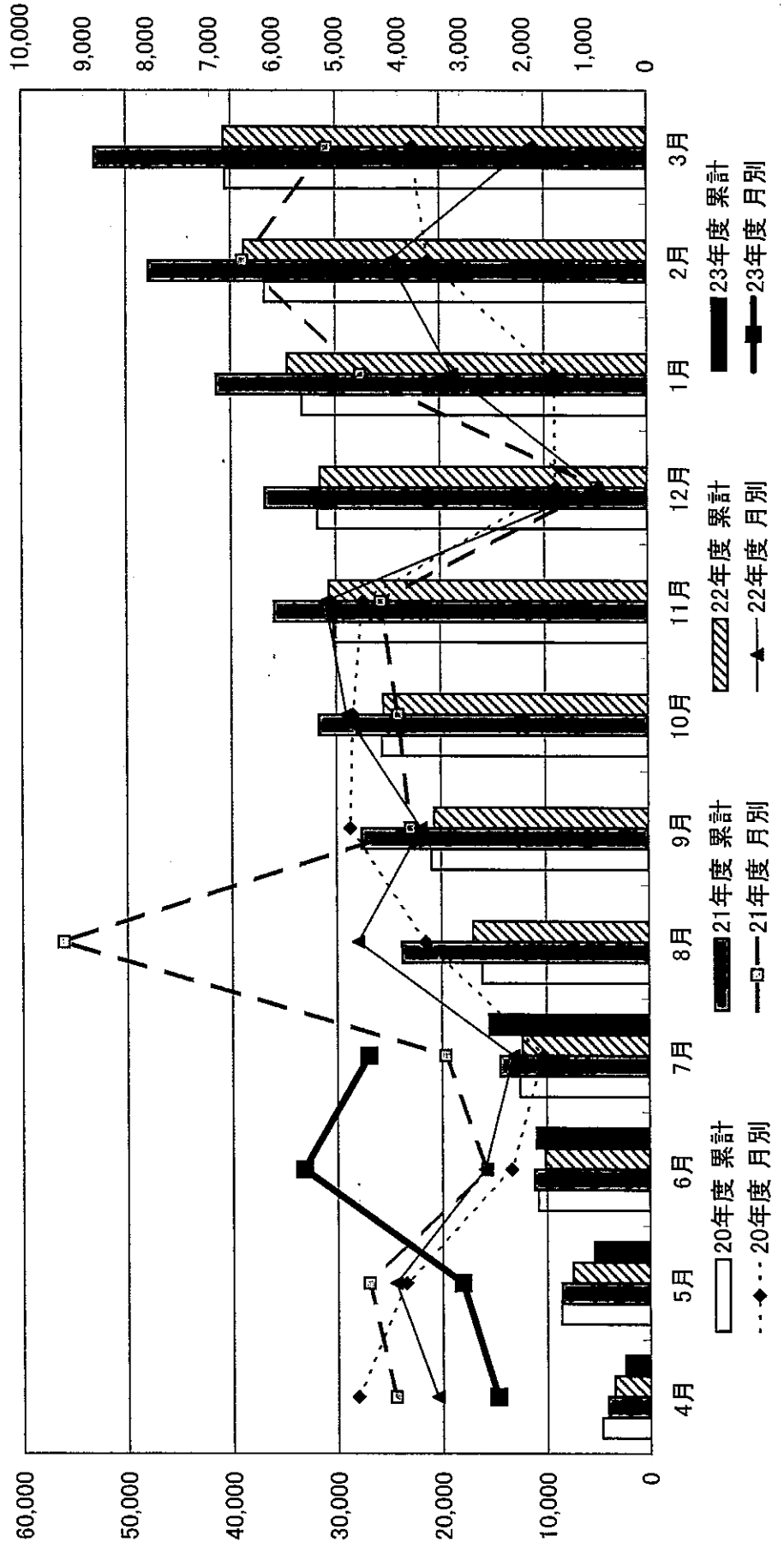
(単位:人)

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	7月末 現在
20	4,679	3,915	2,232	1,716	3,589	4,787	4,735	4,579	1,489	1,499	3,525	3,785	40,530	12,542
21	4,074	4,499	2,618	3,272	9,348	3,824	4,017	4,291	829	4,607	6,481	5,142	53,002	14,463
22	3,413	4,074	2,651	2,196	4,661	3,661	4,840	5,166	821	3,131	4,130	1,906	40,650	12,334
23	2,455	3,011	5,536	4,496										15,498

累計入館者数(人)

入館者数

月別入館者数(人)



緊急雇用対策事業（経済対策事業）

1 趣 旨

国から県へ交付された緊急雇用創出事業臨時特例交付金を財源として造成した岡山県緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用して、県が、雇用及び失業の情勢の悪化に伴い離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する等の事業を実施する。

2 実施事業

事業名	実施期間		事業内容
館蔵品写真撮影事業	9月20日 ～11月30日		新たに寄附を受け入れた資料やデジタル撮影が未着手の資料が多く残る「民俗」分野を中心に撮影を行う。
資料整理事業	10月18日 ～12月28日		新たに受け入れた寄託資料や寄附資料、また、展覧会への出品や資料の貸出し等により、未整理分野であった「工芸」を主に整理する。資料リストの作成、写真（デジタル）撮影、資料を分類別に整理し、積極的な資料活用や管理の効率化を図る。
合 計	2件		

○ 自己評価、自己点検

中期目標を達成するため、毎年度の達成状況を点検評価します。

(1) 目標の設定

目標は中期目標の目標値とします。

(2) 評価の時期

翌年度初めに実施します。

(3) 評価者

館全体で評価します。

(4) 評価区分

評価は、次の1～5段階で行います。

評価区分	内	容
5	目標水準を大きく上回った。	140%以上
4	目標水準を上回った。	110%以上 140%未満
3	概ね目標水準である。	90%以上 110%未満
2	目標水準を下回った。	60%以上 90%未満
1	目標水準を大きく下回った。	60%未満

(5) 結果の公表

評価結果は、「岡山県立博物館協議会」において報告するとともに、ホームページで公表します。

<参考> 博物館法第9条

博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

評価シート

目 標 項 目	評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成22年度 実施結果	評 価	
1 資料の 収集と保 存・活用	資料の購入	資料の購入件数	5点/年	0点/年	1
	寄付資料の受け入れ	新規寄付資料の受け入れ件数	30件/年	6件/年	1
	寄託資料の受け入れ	新規寄託資料の受け入れ件数	30件/年	8件/年	1
	資料の適切な保管	収蔵庫等の定期点検回数	12回/年	12回/年	3
	展示室の資料保存環境の点検	展示室等の定期点検回数	50回/年	49回/年 水替え	3
	収蔵スペース確保の検討	収蔵スペース確保の検討 整理・整頓	随 時 4回/年	随 時 資料整理： 7ヶ月間(緊急雇用)	4
	収蔵品の補修	収蔵資料の修復点数	5点/年	8点/年	5
	資料の活用	収蔵資料展示点数	1,000件/年	692件/年	2
		特別観覧利用件数	100件/年	127件/年	4
		規程の整備	平成21年度中に整備	・特別観覧規程 ・貸出規程 H21 整備済	—
平均評価				3	
2 調査研 究	調査研究活動の強化	各学芸員の調査テーマの設定	6件/年 (各学芸員1テーマ)	6件/年 (各学芸員1テーマ)	3
	調査研究成果の公表	研究報告の発刊	1回/年	1回/年	3
		年報の発刊	1回/年	1回/年	3
		博物館だよりの発刊	2回/年	2回/年	3
		平常展、企画展、特別展の開催	12回/年	12回/年	3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成22年度 実施結果	評 価
	調査研究成果の公表	博物館講座の開催	6回/年	6回/年	3
	外部研究機関等との連携	共同研究テーマ数	2件/年	0件/年	1
平均評価					3
3 施設の 整備・管理	UD化推進事業	エレベータ設置		実 施 済	—
		玄関自動扉設置		実 施 済	—
		来館者用トイレ改修 点字ブロック敷設		実 施 済 実 施 済	—
		階段手すり改修 受付カウンター改修	H22年度末 H22年度末	実 施 済 実 施 済	3
	休憩室整備 案内表示板（ピクトグラム等）設置	H22年度末 H22年度末	実 施 済 実 施 済 受付照明改修 実施済	3	
	安全な施設の維持管理	施設改善5カ年計画の策定	緊急性の高い事案から着手	7ヶ所撤去 H21 排水管清掃 H21 冷凍機改修 H21 " H22	3
	危機管理体制	来館者事故数	0件/年	0件/年	3
		防災訓練の実施	年2回開催	3月9日実施	1
		安全衛生会議の開催	年3回開催	6月30日, 8月31日, 3月3日 実施	3
		危機管理マニュアルの作成	平成22年度までに作成	未作成	1
	利用環境の向上	入館者の満足度	90%以上	80%	2
平均評価					2
4 展 示	特 別 展	入館者数 実施回数 中期計画策定	15千人/年 2回/年 5カ年計画策定	12,749人/年 2回/年 5カ年計画策定	2

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成22年度 実 施 結 果	評 価
	企 画 展	入館者数 実施回数 中期計画策定	13千人/年 2回/年 5カ年計画策定	7,969人/年 2回/年 5カ年計画策定	2
	交 流 展	入館者数 実施回数 中期計画策定	7千人/年 1回/年 5カ年計画策定	10,909人/年 2回/年 5カ年計画策定	2
	平 常 展	入館者数 特別陳列	15千人/年 1回/各季節展	9,023人/年 1回/各季節展	2
	各展共通項目	関 連 事 業 の 充 実	記念講演会	1回以上/1展覧会	1.5回/1展覧会
実演等			3.5回以上/1展覧会	2.0回/1展覧会	1
展示解説			3回以上/1展覧会	2.5回/1展覧会	2
	展 示 方 法 の 改 善	キャプション	改 善	書体表記の統一 年号表記の統一 整備済	3
		解説シート	30枚	24枚 (過去実績24枚)	2
		外国語表記 (英語・中国語・韓国 語) (名称等・キャプション、解 説シート、展示ガイド、要覧)	英語・中国語・ 韓国語表記 名称等 1,900件 キャプション 200件 解説シート 24枚 展示ガイド 2冊 要覧 1冊	英語・中国語・ 韓国語表記 名称等 1,946件 キャプション 254件 (過去実績204+50枚) 解説シート 24枚 展示ガイド 2冊 要覧 1冊	3
平均評価					2
5 教育普 及・学校教 育との連 携	吉備の国ジュニア歴史 スクール	実施コース数 参加児童数	3回-73日/年 120人/年	実施計画策定 144人/年	4
	博物館講座 ①スタンダードコース	開設講座数 参加受講者数	8講座(2班)/年 140人/年	8講座(2班)/年 122人/年	2
	博物館講座 ②スペシャルコース	開設講座数 参加受講者数	4講座/年 120人/年	4講座/年 123人/年	3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成22年度 実 施 結 果	評 価
	体験学習 ①わくわく歴史体験ゾーン	参加体験型資料の充実	10点	22点 (過去実績20+2点)	5
	体験学習 ②よろいと小袖を着てみよう	参加児童数 ① よろい ② 小袖	10人/年 10人/年	11人/年 19人/年	3 5
	館内授業	実施学校数	50校/年	51校/年	3
		受講児童生徒数	2,500人/年	2,616人/年	3
	出前授業	実施学校数	20校/年	17校/年	2
		受講児童生徒数	1,000人/年	1,465人/年	5
	歴史探検ツアー	実施コース	13人/年	03人/年	1
		参加児童生徒数	40人/年	0人/年	1
	展示解説	聴講者数	30人/1解説日	31人/1解説日	3
博物館実習	受け入れ学生数 実施要項の策定	20人/年 平成21年度までに策定	15人/年 実施要項改定	2	
中学生職場体験	受け入れ学校数	5校/年	6校/年	4	
教職員研修	連携事業の実施回数	3回/年	2回/年	2	
平均評価					3
6 県民参加の協働運営	広報活動	記者クラブへの資料提供件数	30件/年	28件/年	3
		マスコミ取材件数	70件/年	73件/年	3
		広報手段の新規開拓	1件/年	1件/年 インターネット情報科登録	3
	アンケートの実施	アンケートの回収率	15%/年	13%/年	2
	ホームページの充実	HPアクセス数	600,000件/年	281,044件/年	1
		内容の更新頻度	月1回以上	月1回以上 HPのリニューアル	3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成22年度 実施結果	評 価
	岡山県立博物館友の会	友の会会員数	400人/年	339人/年	2
		会員の継続率	前年会員の90.0%	前年会員の81.8%	3
		友の会事業実施回数	20回以上	38回	5
		特別展等観覧者率	4.0%	1.8%	1
	ボランティア受け入れ	展示解説ボランティア	6回/年 20人以上/年	6回/年 17人/年	3 2
		支援ボランティア	5回/年 20人以上/年	14回/年 21人/年	5 3
	地域社会と協働の展覧会の開催	共催団体数	1展覧会3団体 以上	1展覧会1.2団体	1
		連携博物館数	1博物館/年	2博物館/年	5
	博物館協議会	協議会開催回数	2回/年	2回/年	3
		評価システムの検討	平成21年度中に実施	平成22年度第1回協議会で実施	-
	老人福祉施設等との連携	連携施設数	2施設/年	2施設/年	3
	平均評価				
7 組織・人員	学芸員の資質向上	研修会への参加人数	10人/年	6人/年	2
平均評価					2
総合評価					3

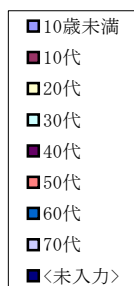
平成22年度 アンケート集計結果

◆アンケート回収率

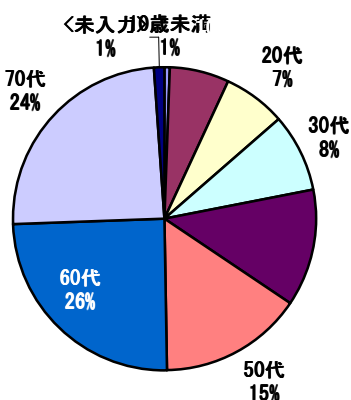
展覧会名	会期	入館者数	アンケート数	回収率
春季展Ⅰ、Ⅱ	4/1~4/18	2,075	283	13.6%
企画展「売薬の祖 万代常閑」	4/22~5/23	5,040	606	12.0%
夏季展Ⅰ	5/27~6/27	2,911	303	10.4%
夏季展Ⅱ	6/29~8/1	2,533	286	11.3%
交流展「瀬戸内源平合戦－兵たちの世界－」	8/5~9/5	5,372	872	16.2%
特別展「鬼ノ城～謎の古代山城～」	9/10~10/17	5,725	811	14.2%
特別展「晴れの国の名宝－岡山の国宝・重要文化財－」	10/22~11/28	7,024	777	11.1%
冬季展Ⅰ	12/3~1/10	1,107	197	17.8%
交流展「古代出雲展－神々の世界－」	1/14~2/13	5,537	824	14.9%
企画展「近代岡山の先人たち」	2/17~3/21	2,929	349	11.9%
春季展Ⅰ	3/25~3/31	397	61	15.4%
合計		40,650	5,369	13.2%

◆年齢構成

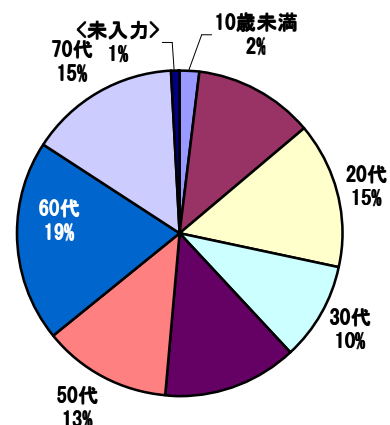
性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	<未入力>	性別合計
男性	19	217	228	286	424	519	850	828	41	3,412
女性	36	234	285	189	260	251	392	296	14	1,957
合計	55	451	513	475	684	770	1,242	1,124	55	5,369



男性

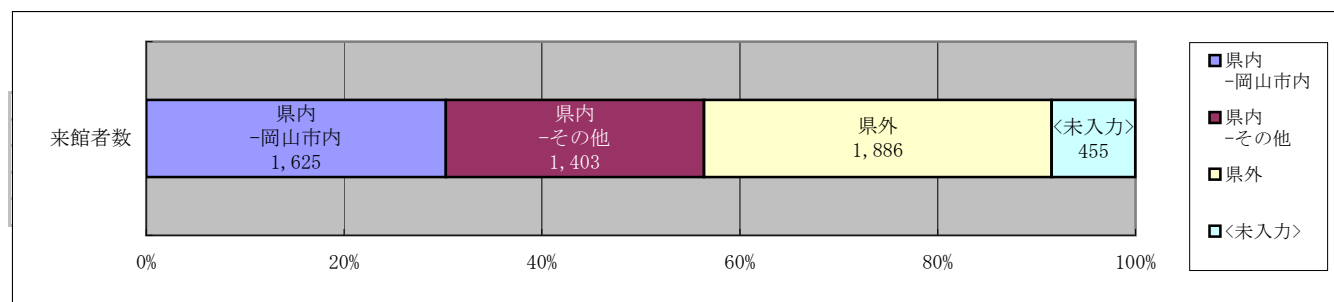


女性



◆住所地一覧

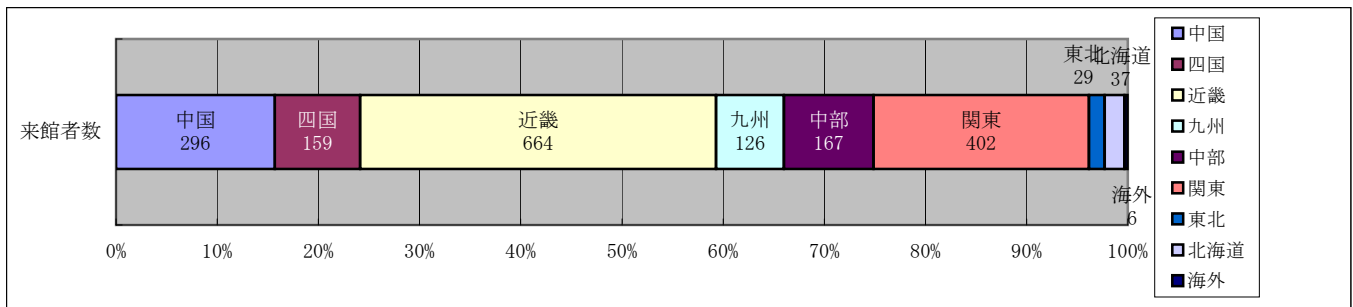
住所地	県内 -岡山市内	県内 -その他	県外	<未入力>	合計
来館者数	1,625	1,403	1,886	455	5,369



◆県外地方別一覧

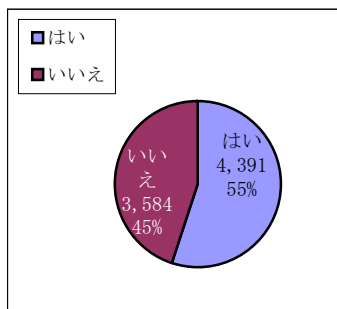
地方	中国	四国	近畿	九州	中部	関東	東北	北海道	海外
来館者数	296	159	664	126	167	402	29	37	6

1886



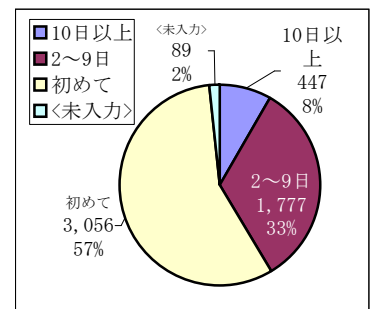
◆後楽園入園別来館者一覧

	回答数
はい	4,391
いいえ	3,584
合計	7,975



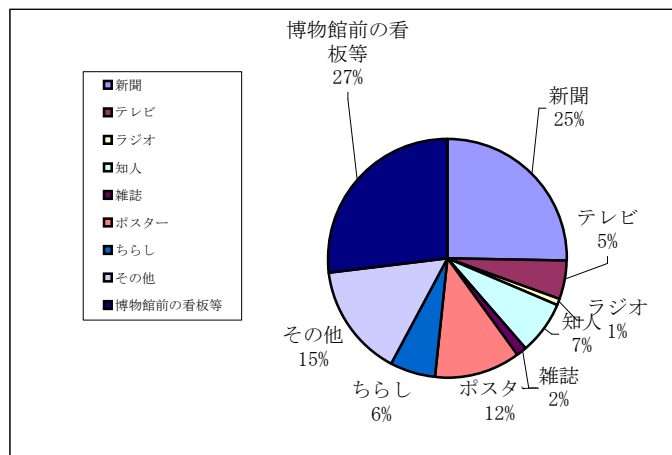
◆最近3年間の当館への来館日数

来館日数	回答数
10日以上	447
2~9日	1,777
初めて	3,056
<未入力>	89
合計	5,369



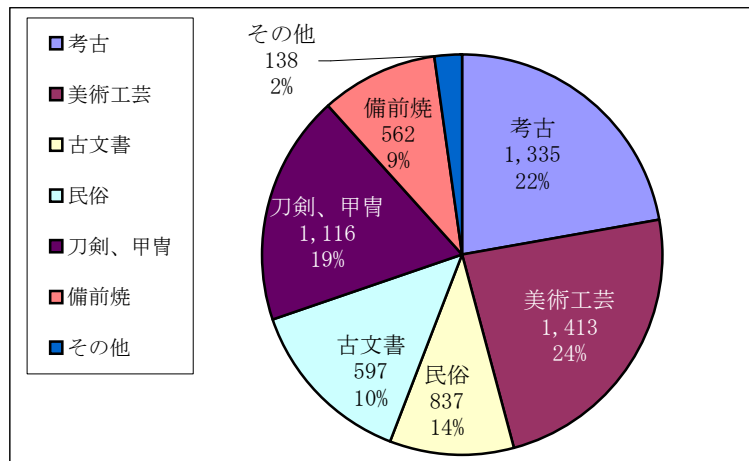
◆この展覧会を何で知ったか

広報媒体	回答数
新聞	1343
テレビ	281
ラジオ	37
知人	382
雑誌	82
ポスター	611
ちらし	329
その他	807
博物館前の看板等	1426



◆今後どのような展覧会を希望するか。

希望分野	回答数
考古	1,335
美術工芸	1,413
古文書	597
民俗	837
刀剣、甲冑	1,116
備前焼	562
その他	138



(希望する内容)

希望分野	
考古	<ul style="list-style-type: none"> ・大正の時代のもの ・吉備と北部九州～ヤマトの交流 ・鬼ノ城や朝鮮からの渡来関係 ・古代吉備や中世吉備文化 ・造山古墳の発掘研究成果
美術工芸	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉時代から江戸時代にかけての美術工芸品 ・他県、他館の宝物 ・仏像、仏教美術、県内の仏像 ・現代美術、工芸の対比
古文書	<ul style="list-style-type: none"> ・近代のもの ・桃太郎物語 ・岡山藩の歴史的な記録、絵図 ・古文書の読み方の講座 ・宇喜多時代のもの
民俗	<ul style="list-style-type: none"> ・食文化のわかるもの ・城主と民のかかわり ・民族衣装 ・生活道具(昔との比較) ・車、工業製品 ・民間信仰、宗教 ・農村や学校の歴史
刀剣、甲冑	<ul style="list-style-type: none"> ・赤韋威鎧の常設 ・国宝級の刀剣類 ・備前長船の刀剣 ・戦国武将の刀 ・火縄銃
備前焼	<ul style="list-style-type: none"> ・古備前 ・茶道具 ・備前焼の歴史
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県出身の文化人について ・民話に関わるもの ・県内の庭園 ・鉄道、バスなどの関係 ・岡山の隠れキリシタン

◆その他、展覧会や施設などについて気づいたことは。

<展示関係>

- ・ここ数年で展示密度が濃くなってきたと思う。
- ・吉備楽が大変よかった。今後もこういう実体験できる企画を希望する。
- ・定期的に「近代岡山の先人たち」のような人を紹介してほしい。
- ・岡山県内の近代アーカイブズの残存状況を特集してほしい。
- ・展示に見る側の視点「なぜ」「背景となる考え方」が不足している。展示する側の一方的な思いになっている。
- ・キャプション、解説シート等について(文字の大きさ、フリガナ、子ども向けの必要性、英語表記の必要性、キャプションの観点が発展示によって異なり統一性が無い、物の重さ、採集地等の場所情報などがあるとよい、無料の解説シートがほしい、資料がほしい等)
- ・シンプルすぎると感じた。強弱をつけるともっと良くなると思う。テーマを絞った方がよいのでは。
- ・展示解説をふやす方がよい。ボランティアの解説がよかった。順路がわかりづらい。PR不足。
- ・ボランティアの解説、展示解説の充実を図ってほしい。
- ・写真撮影がしたい。

<施設関係>

- ・館内が暑い。展示室の照明が暗い。館内全体が暗い。トイレが臭い、流れが悪い。耐震対策はできているのか。駐車場が遠い。

<その他>

- ・体験コーナーがよい。クイズラリー等の子ども向けイベントがよい。小学生の勉強になる。体験コーナーの数を増やす。期間を長くしてほしい。
- ・入館料に関して(入館料が安くてよい。学割を作るべき。後楽園との共通券がわかりにくい。前売り券を販売してほしい。)
- ・雰囲気、音について(静かすぎる。音楽がほしい。足音がうるさい。)
- ・休憩用の椅子の増設(展示室内の椅子を増やして欲しい。休憩用の椅子がほしい。)
- ・音声ガイド、映像を利用した解説がほしい。
- ・受付、職員の態度姿勢など(親切である。マナーの悪い人に注意しない。)

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成23年2月5日～平成25年2月4日）

平成23年8月現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	小森 順子	学校教育関係者	岡山市立石井小学校長	H23.7	
2	三浦 文美	"	岡山市立灘崎中学校長	H22.7	
3	谷川 真利子	"	岡山県立邑久高等学校長	H22.7	
4	藤江 京子	社会教育関係者	岡山県婦人協議会評議員	H21.2	
5	門野 八洲雄	"	岡山県生涯学習センター所長	H23.7	
6	武本 あけみ	"	岡山県文化財保護指導委員	H15.2	
7	宇野 均恵	家庭教育関係者	NPO法人子ども劇場笠岡センター理事長	H21.2	
8	長江 真理子	"	NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場 代表理事	H21.2	
9	岡本 隆明	学識経験者	(株)山方永壽堂代表取締役社長	H23.2	
10	藤 實 久美子	"	ノートルダム清心女子大学文学部 現代社会学科准教授	H23.2	
11	久野 修義	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	H11.2	
12	吉本 正志 (号)正	"	日本工芸会中国支部副幹事長	H23.2	
13	高谷 万知子	"	山陽放送(株)編成業務局企画推進部長	H17.2	
14	江見 肇	"	(株)山陽新聞社編集局文化部長	H19.10	
15	小林 孝一郎	"	岡山県議会議員	H23.7	

博物館法 〈抜粋〉

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第22条 博物館協議会の設置、その委員の定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

岡山県立博物館協議会条例

(昭和46年6月25日
岡山県条例第47号)

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(委員の定数)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第4条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

岡山県立博物館協議会運営規則

(昭和46年7月1日
岡山県教育委員会規則第13号)

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例(昭和46年岡山県条例第47号)第4条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議(以下「会議」という。)に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員(以下「委員」という。)の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

職 員 一 覧

教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文化財課長	村 木 生 久	

岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考
館 長	田 村 啓 介	
副 館 長	島 崎 東	(学芸課長事務取扱)
総 務 課	総 務 課 長	赤 木 康 夫
	主 任	志 摩 尚 史
	主 任	藤 原 雅 彦
	主 事	金 藤 瑞 穂
学 芸 課	副 参 事	正 木 茂 樹
	学芸員 (副参事)	鈴 木 力 郎
	学芸員 (主幹)	信 江 啓 子
	主 幹	竹 原 伸 之
	学芸員 (主任)	佐 藤 寛 介
	学芸員 (主任)	和 田 剛